

令和6年度第2回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
会議録

日 時 令和6年10月21日（月） 午後3時00分 開会
午後5時15分 閉会

場 所 京田辺市コミュニティホール

- 会議議題 (1) 周知方法について
(2) 試行方法について
(3) 地域クラブ活動指導指針について
(4) その他

出席者 員長 竹田 正樹
委員 山際 雅詩
委員 岡嶋 一晃
委員 森本 克美
委員 横井 秀平
委員 松下 まどか
委員 今村 京子
委員 坂本 健二

(事務局出席職員)
こども・学校サポート室 総括指導主事 勝又 靖志
こども・学校サポート室 指導主事 西田 悠太

(その他の出席者)
なし

傍聴者の数 1人

会議の要旨

○議題（1）周知方法について

[協議]

事務局から資料に基づいて説明し、児童生徒、保護者への周知方法や案内文書について、協議を行った。

[質疑等]

(委員)

指導者についてはどうなっているのか。

(事務局)

剣道は、田辺警察署の方にも声をかけて、地域の指導者を探しながら、学校の先生からの希望ありますので、学校の先生にも無理のない範囲で協力をお願いしようと考えている。

ハンドボールは、市内中学校の卒業生に声をかけてもらっている。同様に学校の先生の希望もありますので、学校の先生にも無理のない範囲で協力をお願いしようと考えている。

(委員)

保護者宛文書と児童・生徒宛文書の内容をリンクさせるような文言が必要ではないか。

(事務局)

保護者宛文書内に児童・生徒宛文書の内容を簡単に明記します。

(委員)

会場図や駐車場の有無等の案内も必要でなはいか。

(事務局)

追加するようにします。

(委員)

経験者も未経験者も参加しやすくなるような文言に整理する方が良いのではないか。

(委員)

練習会か体験会かのどちらかの文言が良いと思う。

(委員)

地域クラブ活動の体験会という理解でよい。

(委員)

こどもが申込み、保護者が知らないということが起こる可能性がある。それは、よくないのではないでしょうか。

(委員)

保護者宛文書、児童・生徒宛文書ともに、保護者から申し込むという文言を入れるようにするのがいい。

○議題（2）試行方法について

[協議]

事務局から資料に基づいて説明し、11月より実施する試行の実施内容について、協議を行った。

[質疑等]

(委員)

中学校の部活動だが6年生を参加させる必要があるのか。

(事務局)

ハンドボールは、現6年生が中学校3年生になる3年後に全国大会が廃止されますので、ハンドボールの街として、競技人口が増えていくように、6年生も参加してもらおうと考えています。

(委 員)

11月3日(日)はたなべフェスティバルが開催され、また、期日も短いため、実施は厳しいのではないか。どうか。

(委 員)

無理して実施する必要は無いと思う。子どもたちも参加したいかも知れない。

(委 員)

今後の指導者の見通しは。

(事務局)

スポーツ協会や文化協会とも連携をとらせていただきながら、探していくたいと考えています。

(委 員)

学校部活動の地域移行であり、参加する子どもたちが不安を減らすためにも、スタートにあたっては学校の先生の参加等の協力は必要であると考える。学校部活動の教育的観点、意義も大切にしていきたい。

(委 員)

たしかに、それは大切な観点であるので、協議を行う上で必要なことである。

○議題（3）地域クラブ活動指導指針について

[協 議]

事務局から資料に基づいて説明し、地域クラブ活動指導指針について、京都府学校部活動及び地域クラブ活動指針をもとに協議を行った。

[質疑等]

(委 員)

京都府の指針の第2編の活動ためのガイドラインであるが、運営団体やその在り方については、第3編の活動マニュアルがある方がわかりやすい。

(事務局)

次の協議会には準備します。また、京都府教育委員会のホームページにも掲載されています。

(委 員)

京都府庁であった府の地域クラブ活動説明会で山口県の先進地の説明があった。予算のこともあると思うが、協議会で、そのような先進地視察をすることができないだろうか。

(事務局)

受け皿となる団体であったり、それを統括する団体が必要であるかどうかなど、京田辺市の課題を整理し、協議していくことが必要と考えます。他府県他市町の状況の情報収集に努め、この協議会でも情報提供していきます。

(委 員)

今すぐあるとかは、考えていない。今後必要ならばそういうこともあり得ると考えています。

(委 員)

教師の今までの学校部活動の指導のノウハウは大切にしていく必要がある。

(委 員)

先生も兼職兼業で指導者と関わってもらえる。地域の指導者も関わっていくのだと考えている。いきなり全て任せるのは、厳しいと考える。

(委 員)

部活動をやりたい先生の気持ちも大切にしたい。

(委 員)

指導者の報酬等、今後は受益者負担についても考えていかないといけない。

(委 員)

地域の企業のスポーツクラブも協力すると言つていただいている。しかし、大会で勝つと練習日が設定できなかったりするということがでてくる。

(事務局)

各種目や活動で状況が違うので、いろいろな在り方が考えられる。みなさんにも情報収集や協力していただきながら進めていきたい。

○議題（4）その他

特になし。

以上